

# 令和4年度 環境研究総合推進費の 新規課題を公募します

公募期間  
2021年 9/21 火 ~ 10/26 火

応募方法

「府省共通研究開発管理システム  
(e-Rad)」にて受付

環境研究総合推進費は、気候変動問題への適応、循環型社会の実現、自然環境との共生、環境リスク管理等による安全の確保等、持続可能な社会構築のための環境政策の推進にとって不可欠な科学的知見の集積及び技術開発の促進を目的として、環境分野のほぼ全領域にわたる研究開発を実施しています。

公募の開始にあたり、「令和4年度新規課題公募説明会」を開催します。

環境問題に関する研究を行っている、または関心をお持ちの研究者の皆様、大学・研究機関や企業で研究活動の企画・マネジメント等に携わる皆様等のご参加をお待ちしています。

## 令和4年度新規課題公募説明会を開催します

### ■ 第1回公募説明会（推進費制度や公募の概要）

環境研究総合推進費制度や推進戦略等の概要について、ERCA及び環境省より説明いたします。プログラムオフィサーによる研究マネジメントのアドバイス、現在実施中の課題の研究代表者より体験談をお話いただけます。

日 時 令和3年 8月23日(月) 14:00~15:50

開催方法 オンライン開催(Webex Events)

### ■ 第2回公募説明会（令和4年度新規課題公募の内容）

令和4年度新規課題公募の内容、申請書作成の留意点等について、ERCA及びプログラムオフィサーより説明いたします。また、今年度は公募要領に提示された行政要請研究テーマ(行政ニーズ)の内容について、環境省担当課室より説明いたします。

日 時 令和3年 9月27日(月) 10:40~16:30(予定)

開催方法 オンライン開催(Webex Events)

### ■ オンライン個別相談会(通年開催)

ERCAでは、環境研究総合推進費への応募を予定又は検討している研究者や研究推進部門ご担当者等を対象にオンライン個別相談会を開催しております。

ご相談内容に応じて、研究課題の進捗管理・助言・指導を行っているプログラムオフィサーやERCAから説明等を行いますので、ご希望の場合はERCAホームページからお申し込みください。

開催日 毎月第4木曜日 16時~17時(10月は第1、第2木曜日も追加開催)

相談時間 1組あたり30分以内

相談方式 オンライン(Zoom)での個別相談

公募説明会や公募の最新情報はERCAのホームページにてお知らせします。

<https://www.erca.go.jp/suishinhi/>



# 令和4年度新規課題公募区分(案)

公募区分	年間の研究開発費の支援規模 <sup>(※1)</sup>	研究期間	委託費・補助金の別
環境問題対応型研究	4,000万円以内	3年以内	委託費
環境問題対応型研究 (技術実証型) <sup>(※2)</sup>			
次世代事業 <sup>(※3)</sup> (補助率1/2) ア.「技術開発実証・実用化事業」 イ.「次世代循環型社会形成推進 技術基盤整備事業」	ア. 1億円以内 イ. 2億円以内	3年以内	補助金
革新型研究開発(若手枠)	600万円以内	3年以内	委託費
戦略的研究開発			
戦略的研究開発(FS)	1,300万円以内	2年以内	委託費
戦略的研究開発(I)	—	—	
戦略的研究開発(II)	1億円以内	3年以内	

## 環境問題対応型研究

重点課題に提示した環境問題の解決に資する研究課題を公募

## 次世代事業

本事業として実施することにより実用化が見込まれ、かつ汎用性及び経済効率性に優れた技術の開発を対象

## 革新型研究開発(若手枠)

新規性・独創性・革新性に重点を置いた若手研究者(研究代表者及び研究分担者のすべてが令和4年4月1日時点で40歳未満であること)が対象

## 戦略的研究開発(FS)

戦略的研究開発(I)の研究内容について事前に検討・分析・提案を行う研究課題を公募、フィージビリティスタディ

## 戦略的研究開発(I)

環境省が提示した戦略研究テーマを構成する研究課題を公募、戦略期間は5年以内で、先導的に重点化して進めるべき、または先導的な成果を上げることが期待される統合的な大規模研究開発プロジェクト

## 戦略的研究開発(II)

環境省が提示した戦略研究テーマを構成する研究課題を公募、短期間(3年以内)で重点的に進めるべき中規模の研究プロジェクト

※1 間接経費、消費税を含む1年間の上限額。 ※2 環境問題対応(技術実証型)は、技術開発成果の社会実装を進めるため、当該技術の実用可能性の検証となります。 ※3 「技術開発実証・実用化事業」は、環境問題対応型研究等で得られた技術開発等であって、全ての研究対象領域において、実証・実用化を図ることを目指した事業、「次世代循環型社会形成推進技術基盤整備事業」は、資源循環領域において、廃棄物の安全かつ適正な処理、循環型社会の形成推進に関するもので、実現可能性、汎用性及び経済効率性が見込まれる技術を開発する事業となります。

# 環境研究総合推進費の公募スケジュール

例年9月下旬頃から約1ヶ月間の公募期間の後、書面・ヒアリング審査を行い、3月頃に採択課題を決定します。採択された場合は4月から研究を開始できます。研究期間が3年以上の研究課題については中間評価を行い、必要に応じて、研究計画の修正、見直し等を行います。また全ての課題について、研究期間終了後に事後評価を行います。

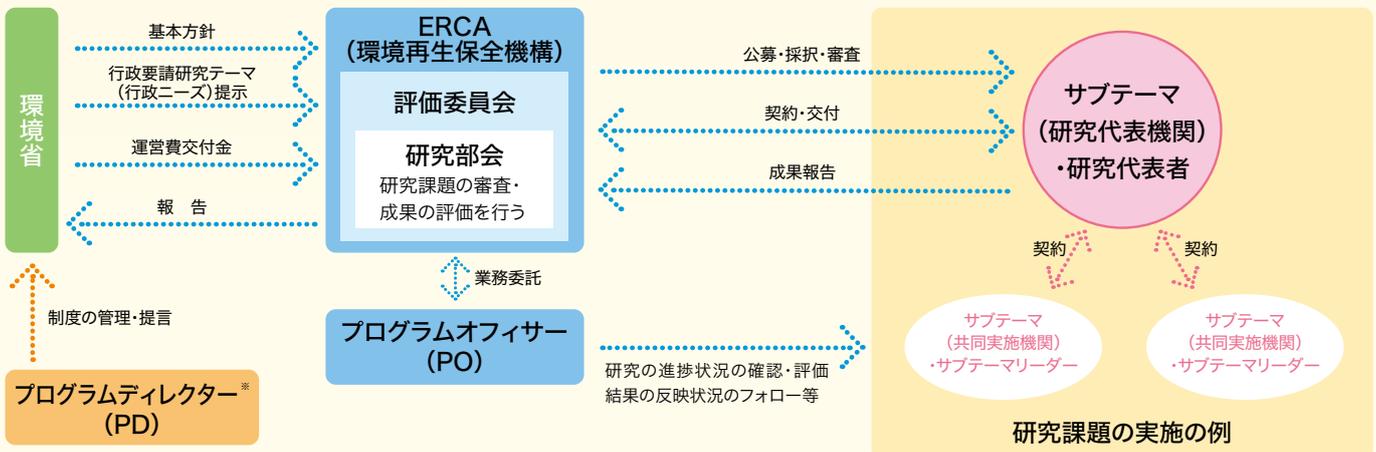


# 環境研究総合推進費の実施体制

研究課題は、複数の研究者(複数の研究機関を含む)が研究チームを構成して実施することができます。この場合、研究代表者は審査過程での連絡・対応について、総合的な責任を有します。また研究課題が採択された後は、研究計画全体の作成、研究推進に係る連絡調整、全体の進捗管理等を行います(下図参照)。

環境研究総合推進費は、公募区分や研究機関に応じて、委託費または補助金により交付します。

委託費の場合、研究代表者が所属する研究代表機関は、ERCAと委託研究契約を締結し、契約に従って研究を実施していただきます。また、サブテーマを実施する共同実施機関は、研究代表機関と個別に委託研究契約を締結していただきます。



※環境省では、豊富な研究経験のあるプログラマディレクターを配置し、制度の適切な運用を行います。